

# 峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

障害者支援施設

拓光園グループ

## 念願の東京ディズニーランド

### 1泊親子旅行



9月17日～18日、親子旅行を実施しました。1泊旅行がこれまで実施しない年が続きましたが、「また、以前のように1泊の

旅行に行きたい」と多くの希望が寄せられ、今年度久しぶりに実施することになりました。実際に7年ぶりとなる1泊旅行の行先は、オリンピック開催が決定したばかりの東京でした。

「新青森駅」から乗ったことがなかつた新幹線「はやて」に乗車し、スピード感あふれる車窓からの風景に魅了されて東京までの時間はあつとう間に過ぎました。

待ちに待つた「東京ディズニーランド」へ到着し、テレビや雑誌で見た夢のような光景が目の前に広がっていました。心躍る皆さんは、キャラクターと記念撮影をしたり、アトラクションを満喫したりと思い思いに楽しい時間を過ごして、パーク全体の華やかな雰囲気

行き、634mの圧倒的なスケールを目の当たりにしました。展望台では、台風一過の秋空のもと、眼下に広がる首都のパノラマに酔いしれました。

利用者さんに感想を聞くと、「夢にまで見ていたディズニーランドに行けてうれしい」「スカイツリーに登ると高層ビルもおもちゃみたいだ」などと興奮し話されていました。

帰路は飛行機に乗つて空の旅です。名残惜しくも東京に別れを告げ、見慣れた景色が私たちの帰りを迎えてくれました。

7年ぶりの1泊親子旅行は大成功に終わり、とても楽しい思い出を作ることが出来ました。これからもぜひ続けていきたいとの願いが聞かれています。





平成25年9月16日（敬老の日）特別養護老人ホーム『サンアップルホーム』では「平成25年度敬老会」が行われました。敬老会式典は、50人余りのご家族と、家族会役員の皆様、当法人の大平和夫理事長をはじめ、各施設長が列席されて厳かな中にも和やかに行われました。

今年は、90歳以上の方が、23名。

最高齢は、99歳の小山内とめさんで

## 祝 敬 老

**特別養護老人ホーム サンアップルグループ**

す。

小山内さんは、大正2年生まれ

で、11月の誕生日では満百歳になります。小山内さんが生まれた時代

は、大正浪漫と言われるような華やかで自由な風潮であります。第一世界大戦や関東大震災があつた激動の時代です。弘前市で、大正を探してみると、『高砂』のお蕎麦屋さんや、『しかないせんべい』さんが、大正2年の創業です。そして、

20代、30代の頃は、戦中と戦後。若い小山内さんは、どのように生きてきたのでしょうか。大変なご苦労、もちろん楽しい事も沢山あったと思います。

高齢者の皆様、一人ひとりには、

それぞれの歴史があります。私達は、現在の利用者さんの支援をしていますが、今の姿ばかりを追うのではなく、その方々の生きた時代背景

を受け止め、敬い感謝したいと思します。祝・敬老。

## 移 動 式 高 床 畑

**障害者支援施設 山郷館くろいしづるー**

『山郷館くろいし』では毎年決まって行われているのが園芸活動です。これまで裏庭の花壇を利用していましたが、車

椅子を使用している方が多くできる作業も限られていました。

大好きな園芸を行うにあたつて車椅子に合わせた高さで作業ができるようになれば、野菜の成長を眺め、育てられると、皆の笑顔を想像しながら今年行った工夫はといふと・・・

山郷館の匠に、名付けて『移動式高床畠？』を作成してもらうことにしました。

車椅子が入って手が届く、上から水をまいても膝にはかかるない、向かい合わせに複数で一緒にできる広さ、段差のない場所に移動できるという願いをすべて叶えてくれた畠が



完成しました。

車椅子からの水やりも楽に行えるようになりました。畠が移動できるようになつたことで、これまで参加できなかつた利用者さんも参加できるようになりました。

これまで交流が少なかつた他のユニットの方とも畠を囲んで、植えていた野菜や花の話からいろいろな話に発展し、屋外で過ごす時間も増えました。

「今までできなかつたことができようになつた」とか「園芸活動に参加することができてとても嬉しい」という声を聴けたことも、育てた野菜とともに大きな収穫でした。



障害者支援施設 山郷館グループ

## 葛飾福祉館との交流

7月26日から7月29日の4日間、昨年に続き『葛飾福祉館』より小中学生ならびに施設職員合わせて14名がワークキャンプのために『山郷館』を訪れました。

『葛飾福祉館』では地域福祉活動の一環として、地域の子ども達と施設の職員が障害者施設での奉仕活動を通して福祉の心を学ぶために活動しています。



『弘前市障害者生活支援センター』  
への訪問をしました。今回は、昨年  
に続いて参加している方もおり、利  
用者さんの中には知っていた方も多  
く、打ち解けるのも早かつたようだ  
した。最終日にはお別れ会でハンド  
ベルの演奏や歌を披露していただき  
き、感動のお別れとなりました。

今回の活動で『葛飾福祉館』の職  
員の皆様に、私達はたくさん学ばせ  
ていただきました。



子供たちを連れて、遠く離れた地  
でのキャンプということでしたが、  
皆さんのが安全に楽しい活動を行った  
めの職員同士の連携する姿が印象に  
残りました。

4日間を終わつてみると、とても  
短く感じられました。このキャンプ  
が今後も続くことを願います。

担当し、複数の違う作業を行い、忙しく働いています。休憩時には、チラシを見たり、テレビを見て情報を集め、週末の外出を計画します。

御本人の話では、「今週は洋服、来週は日用品、その次は外食」と、計画を立てて、月に三～四回外出しているそうです。

休日は、思いつきり  
エンジョイ

『旭光園』で生活されている利用者さんは、休日は思いつきりエンジョイ、みなさん自由に楽しく過ごしています。

旭光園の皆さんには、上手に時間を  
使い、仕事も余暇も、エンジョイして  
いる方もいます。

平日は、各部門ごとに作業をして  
ます。休日

は、各々が外食・ショッピング・旅行や趣味を楽しんでいます。今回はその中からいくつかを紹介します。

Kさん（女）  
性）は、午前  
納豆作り、午  
後はレジバッ  
クの製造作業



拓心館グループ

8月25日、「青森県総合運動公園」にて「青森県障害者スポーツ大会」が開催されました。この大会は競技参加者約1100名、競技数8種目という、県最大規模の障害者スポーツの祭典です。宿泊型自立訓練事業『通勤寮拓心館』から、7名の方が「陸上競技」の選手として、1名が応援として参加しました。

『通勤寮拓心館』では、今年養護学校を卒業した7名の利用者さんが仲間入りし、毎日賑やかに生活を送っています。



## 第21回 青森県障害者スポーツ大会

に出場したこともあります。今回も

その他の競技に参加した皆さんも自分の実力を出し切った様子で、応援席は大変な盛り上がりを見せました。

仕事に生活に  
と大忙しの毎日  
ですが、このよ

うな行事にも積極的に参加しています。今後も様々なことにチャレンジしながら充実した生



活を送れるよう、支え合つていきた  
いと思います。

総合支援事業

障礙者支援事業

高齡者介護事業

居宅介護支援事業

青森県社会福祉連携センター事業  
 生活支援センター ☎ 03-4554-5204  
 弘前市相談事業  
 弘前市相談生活支援センター ☎ 03-4552-4000  
 弘前市相談事業  
 弘前市相談地域包括支援センター ☎ 03-4552-2100  
 黒石市相談事業  
 山邊館地域支援センター黒石 ☎ 03-4550-0118

福祉ホームさわら  
障害者支援施設 拓光園会館 〒582-23301  
施設入所支援 生活介護事業  
拓光園生活介護事業所(通所型)  
拓光園短期入所支援センター  
拓光園障害者支援センター  
拓光園同居生活介護事業所(2ヶ所)  
拓光園相談支援事業所  
拓心館グループ  
自立訓練事業(宿泊型)・自立訓練・生活訓練  
津浦町立訓練支援センター(共同生活・介護支援)  
児童癡達支援センター(はあと)  
就労サポート(ひろさく)・就労移行・就労継続支援事業  
専心学園(就労訓練施設)  
エイフル(生活介護・就労継続支援B型)  
指定相談支援事業所ヒーリング

サンアツブル在宅介護支援センター  
テレサービスセンター「わかば」  
☎(07)21-31165  
住宅型有料老人ホーム「わかば」  
☎(07)1-8888

サンアップルホーム ☎ 072111  
 サンアップル短期入所生活介護センター  
 サンアップルホームデイサービスセンター  
 サンアップルヘルパーセンター

認知症グループホームアップル  
 認知症デイサービスセンターじょい

サポートセンターわかば ☎ 072778  
 認知症グループホームわかば ☎ 0721176  
 ☎ 072013